

木協通信

第49号
発行年月日
平成28年12月1日
日田市南友田100-1
日田木材協同組合
総務企画委員会発行
TEL24-2167

やテナント部分の
これからの採算面
の心配など、いろ
いろ参考になる意
見を聞くことがで
きました。その中
で、木造のマンシ

ョン部分の入居率
がよいそうで、我々木材業界人にとつては、
うれしい話でした。

☆日田木材協同組合百年を語る
このような大川木工業の急速な発展の理由について「日田林業発展史」林業発展史調査会」には次のように述べている。
木工業に使用する木材はこの町の周辺に産しない。筑後の大川は有明海に面しており、背後には筑後平野がある。こうした平野の中で木工業が発達する事の出来たのは、上流の森林地帯から伐り出され筏によって運ばれてくる木材を豊富に入手することができたからである。この点は大川は地理的に恵まれていた。
次号へ続く

☆平成28年度 業主旅行

理事長 瀬戸亨一郎
去る10月14日から16日にかけて、京都、大阪、神戸と総勢18名にて視察を行いました。

今回の視察目的は、日田木協の組合会館の移転に伴い参考となる木造建築物を見学することとしました。視察先として同業種の京都木材会館と大阪木材仲買会館を選定しました。どちらも最近完成したものであり、街中のビルの真ん中でありながら木造の建物として景観にマッチしたものでした。京都木材会館は、京都府木連ビルとして、木造4階建てで1階部分は、歯医者テナントとして利用し、2階部分に京都府木連の事務所があり、3、4階は賃貸用のマンションとして利用されていました。

4階建ての木造なので2時間耐火性能が要求されるらしく、サンプルとして置いてあった柱の模型の断面は、集成材の芯に5枚の不燃ボードを貼り、さらにその上に集成材を貼るという構造で太い梁・柱を構成していました。最新の木造建築技術を採用しているため国交省の補助事業を利用したそうで、視察者も大変多いとのことでした。先方の専務理事の説明では、会館の建替えに伴い、組合員の合意を取り付ける苦労



【京都木材協同組合にて】

大阪木材仲買会館は1階部分が鉄筋コンクリートで2、3階は、竹中工務店が開発した集成材の内部にモルタルを配した集成材のラーメン構造でした。設計を行った竹中工務店の方より説明をいただき、細部まで設計意図を理解できました。完成後数年を経過しており、スケルトンのいかにも現代風の木造ビルで、今後の風雨による変色やメンテナンス等がどのようなかに関心が集まりました。いずれも都市の中で3、4階建の木造ビルを建てる工夫や、木材を見せながら耐火性能をいかにクリアするかがよくわかる建物でした。



【大阪木材仲買協同組合にて】

意匠的には、京都は景観条例で制限が厳しく、また大阪は周りの高層ビル群と対比的に木造のビルが溶け込んで木材の良さをアピールしてくれている建物でした。

両方とも規模的に大きな建物でしたので、そのままというわけにはいきませんが、日田木協の新しい会館にも、大いに参考にさせていただける部分もあったと思います。最近の木造技術がいかに進んでいるかを学ぶことができ、伝統的な木造のよさと近代的な木造のよさを融合させている建物であったかと思えます。

さらに新神戸駅の近くの竹中人工道具館を見学しましたが、これは木材業界人であれば是非一度は尋ねていただきたい施設でした。大工・左官道具から木造建築の歴史と伝統的技術を学べる格好の施設でした。このような立派な施設があることに驚き、機会があればまた近いうちに再訪したいと思いました。

今回は、衛藤征士郎事務所の計らいで西本願寺の特別参観ができ、通常入れない国宝や飛雲閣も参拝することができました。天気にも恵まれ充実した視察旅行ができましたことに感謝申し上げます。

○業主旅行に参加して

総務企画委員 佐藤浩幸

【竹中工務店の新人工道具館の見学】
建物は地上1階、地下2階。壁は京都の聚楽土の漆喰仕上げである。外観は写真のとおりである。



二階の広間の天井は杉材の木肌の美しさで構成されている。

一階から地下1階、二階へと続く常設展は歴史の旅へ和風建築、棟梁に学ぶ、道具と手仕事、世界を巡る、和の伝統美、名工の輝き、木を活かすの七つのコーナーに分かれている。それぞれのコーナーはテーマに従って歴史的、伝統的、また現在もなお使用し、現存するものを展示し、詳細にわたって解説している。この中で特筆すべきは「道具と手仕事」のテーマで木造建築の発達と共に製作され、現在も使用さ



れている大工道具の実物がその使用方法に
応じて展示されている。

またこの展示の内容は時代の変遷と共に
建築物の変化に応じて道具の数が減少して
いる事を説明している。昭和18年(1943年)
の調査により本格的な建物を作るのに必要
な大工道具は179点。どんな安普請でも最低
限必要な道具は72点であった。



また戦後は道具の数が変化するが、この
調査は大工道具の最盛期の状況である。次
に日本建築に欠かされた土壁の歴史の
展示もあり、現在では殆ど作られなくなっ
た数種の壁の仕様、幕末から明治にかけて
の現在知られている左官仕様、神社仏閣、
城、住宅の建築に駆使された百数十種類に
及ぶ鑿(こて)の展示には驚きであった。
材木屋には時間をかけて一見の価値があり、
非常に勉強になった。

★大分県功労者表彰

11月1日にて、平成28年度の大分県功労
者表彰と教育功労者表彰が発表されました。
農林水産部門に於いて武内光太様(株式会社
製材所)、長哲也様(林業経営者)が表彰
されました。誠にめでとございます。

★新しい事務所等の建設に係る

アンケート調査結果

○11月5日までに纏めたアンケート集計
です。回答数25社

1、事務所棟の面積について

①計画で良い 21名 ②広い 1名 ③

狭い 1名 ④その他 木協の将来によっ
て決めるべき 1名

2、会議室の広さについて

①計画で良い 18名 ②広い 3名 ③

狭い 2名 ④その他 総会可能 1名

3、理事長室について

①設ける 12名 ②設けない 11名 ③

その他 会議室に理事長の机を 1名
現在の半分程度に 1名

4、エレベーターについて

①必要 2名 ②不要 22名

5、製品倉庫の貸出しについて

①貸倉庫は必要 5名 ②不要 17名

6、製品倉庫の構造について

①木造 13名 ②テント 6名 ③その
他 2名

7、木材加工について

①現状で良い 14名 ②他の加工も 4

名 ③その他 分からない 2名 加工
棟が広すぎる 1名 加工は不要 1名

8、自由意見

・マルシヨク等前総会で説明した時と、大
きく変更したので、組合の経営に、この計
画でこの場所にしてよいか組合員に相談し
てください。

・柱を亜鉛メッキすれば、テントでも耐久
性は上がる。

・加工作業は人員を1名にしてもよい。

・プレーナー屑はサイロではなくヤードに
した方がよいと思う。

・階段の段差は12cmが望ましい。

・木をとにかく多くした建物より、バラ
ンスよく木材を使用したクオリティの高い
費用をかけて 建物にしたい。

・木協の注文材や加工依頼分の仮置き場
所が必要のため、貸倉庫はあった方がよい。
・皮剥機が無くなるのが頭が痛い。なんと
かならないものかと思っています。

・平屋建て検討してはどうですか。階段部
分が不要となり、経済的と思う。

・組合員の人数も減少している中で、事務
所等のスケールダウンは良いことだと思う。

・会議室の一角に理事長の机を置く。木材
の先行きを考えると、広くなくてもいいの
ではないかと思う。木協を将来どうあるべ
きかで、事務所を考えるべきと思う。

・事務所棟の建築は、純木造(漆喰の壁)
で、日田の大工が手加工工法で、建築すべ
きだと考えます。そうすることで、日田地
域技能士会が進めている、後継者育成と、
技術の伝承等に大いに貢献出来る。

・手加工の場合木材は、高温乾燥ではなく、
天然乾燥を使用すべきです。

・ただ単に建て替えるというのではなく、
組合として、如何にすることで、地域の活
性化に繋がるかを、真摯に考えください。

御協力ありがとうございました。

★全国産業観光フォーラム

「エクスカーション」

10月27日パトリアにて、隈研吾さんによ
る記念講演、パネルディスカッションがあ
り、その後、屋形船にて交流会、全国より
沢山の方々に参加されました。

全国産業観光フォーラムの2日目は、エ
クスカーションにて、4コースのうち、エ
木の香りコース」と題し、日田杉資料館
(ウッドコンビナート 九州木材市場・日
田資源開発) (下駄づくり体験 ペトリア・
工業展) (豆田町 散策・昼食)。のコー
スがあり、全国より参加した方々約30名が
日田杉資料館を視察されました。
展示している昔の林業風景や、筏にて川
を下る写真の説明をおこないました。あ
いにくの小雨となりましたが、樹齢五百年
もの大木の数々に皆さん歓喜して頂きまし
た。



★秋の優良材市

10月24日、秋の優良材市を開催しま
した。

今回市況は、出材量の減少による原木の
品薄感からほぼ全般的に買い気がみられ強
気配の展開でした。

杉 4M直材は一部を除き小幅ではありま
すが単価UPしています。また曲材は部分
的にmあたり一万円を上回り取引されまし
た。

杉 3M直材は前回より更に値を上げ強保
合で全面高です。

桧 4M材は直・曲ともにmあたり一千円
近く値を上げ応札も良好でした。

取扱材積…一、三四五、八八二m³

取扱金額…二五、〇五九、六六一円

平均単価…一、一八九円

★お知らせ

○平成28年度木づかい促進事業

11月30日現在の受付状況は、新築97件、
リフォームが148件です。

今後は新築・リフォームに関わらず、先
着順に残りの予算(約一千二百万円分)を
支給致します。

事務局 日田木材協同組合 小関・川原